

H・デュモリン師 (1905-1995年)
の逝去を悼んで

ヤン・ヴァン ブラフト

Jan VAN BRAGT

去る7月21日、ハインリッヒ・デュモリン師（イエズス会士）は、3週間の入院生活の後、90歳にて安らかに逝去されました。7月25日には東京四谷の聖イグナチオ教会にて修道者にふさわしい簡素な葬儀がとり行なわれ、最後の休息の場に召されました。

南山宗教文化研究所のメンバー——同はここにデュモリン師の死に対する哀悼の意を表するとともに、師に最後の賛辞を送りたいと思います。幸いなことに、私たちが師に賛辞を送るのはこれが最初ではありません。というのも、師の80歳の誕生日を記念して、私たちは*Japanese Journal of Religious Studies*の1985年第2冊・第3冊合併号を師に献呈し、師の学問的業績を称えたからです。この合併号にはデュモリン神父の経歴(pp. 109-115)と研究業績のリスト(pp. 263-71)が掲載されていますので、ご参照ください。

デュモリン神父の最近10年間のご活躍については、下に挙げました文献目録(追加)が雄弁に語っています。師による出版物の長大なリストが示すように、デュモリン神父はご自分の研究計画を最後の最後まで着実に——師ご自身の言葉を借りますと「若い頃やり残したことを取り戻すべく」——遂行し続けてこられました。師は2回の短期入院生活を経験され、歳とともに次第に仕事のペースが遅くなっただけではありませんが、結局、老齢もまた師の研究活動を抑制することができなかったということは、師の研究業績の示しているところです。また研究業績から看守することはできませんが、師が老齢のゆえに偏屈になったり気むずかしくなったりすることがなかったということもまた確かな事実です。デュモリン神父は本当に最後まで変わらず、謙虚で穏やかで上品な風采の人でありました。

デュモリン神父はもちろん学者として偉大でしたが、人間としてもさらに偉大な人でした。私たちは師の学問ゆえに師を尊敬していましたが、またその人間としての性質ゆえに師を愛していました。師は実に誠実で、自分に厳しく、快活な人で、会う人皆をいつも温かく迎え、勇気づけてくれました。少しいたずらっぽい笑みを浮かべた師の写真を見れば、私たちが言葉で説明するよりもっとよく、この学者の人間としての姿を見て取ることができるかもしれません。

南山宗教文化研究所はデュモリン神父から計り知れないご恩を受けています。とりわけ師が、当時上智大学で重責を背負っておられたにも拘らず、本研究所の初代所長（1975-1976年）を引き受けられ、さまざまなインスピレーションを私たちに与えるなど研究所の創立にご尽力くださったことは、決して忘れることはできません。またその後も常に「守護天使」のように離れることなく私たちのすぐ後ろに立

ち、私たちを辛抱強く元気づけたり励ましたりしてくださいました。その去った跡が「穴」となっており、私たちの心を不安にさせることによって、その偉大さがますます痛切に感じられるような人々があります。デュモリン神父の逝去の後数カ月を経て次第に明らかになってきたのは、師もまたそのような人の一人であったということです。デュモリン神父は、キリスト教の伝統に対して忠実——その忠実さは厳格ではありましたが、また柔軟さをも備えていました——でありつつ、仏教や日本のその他の諸宗教に対して完全に開かれた心をもって接されました。諸宗教対話の開拓者である笑顔のデュモリン師の思い出は、私たちがまた師の精神にずっと倣い続けるよう永遠に勇気づけてくれることでしょう。

Japanese Journal of Religious Studies 22 (1995)
に掲載された英文の翻訳・再録

1. *Geschichte des Zen Buddhismus, Vol. 2: Japan*. Bern: Francke Verlag, 1985, 382 pages.
2. *Zen Buddhism—A History (Vol. 1): India and China*. Trans. by James Heisig and Paul Knitter. New York: Macmillan, 1988, 349 pages.
3. 『吉田松陰』 Tokyo: Nansōsha, 1988, 203 pages.
4. 『人生と愛』 (edited by Tatsumi Toyohiko). Tokyo: Nansōsha, 1989, 218 pages.
5. *Buddhism—A History (Vol. 2): Japan*. Trans. by James Heisig and Paul Knitter. New York: Macmillan, 1990, 509 pages.
6. *Zen im 20. Jahrhundert*. München: Kösel Verlag, 1990, 189 pages.
7. *Dōgen Zen: Kleine Schriften der Sōtō Schule*. Zürich: Theseus Verlag, 1990, 112 pages.
8. *Begegnung mit dem Buddhismus: Eine Einführung* (Revised edition). Freiburg im Breisgau: Herder Verlag (Herder Taschenbuch 1732), 1991, 205 pages.
9. *Zen Buddhism in the 20th Century*. Trans. by Joseph O'Leary. New York/Tokyo: Weatherhill, 1992, 173 pages.
10. *Understanding Buddhism: Key Themes*. Trans. and adapted from the German by Joseph O'Leary. New York/Tokyo: Weatherhill, 1994, 173 pages.

1. *Zen Buddhism—A History (Vol. 1): India and China* (Second edition, "With a New Supplement on The Northern School of Chinese Zen"). New York: Macmillan, 1994, 387 pages.
2. *Spiritualität des Buddhismus: Einheit in lebendiger Vielfalt*. Mainz: Matthias Grünewald Verlag, 1995, 280 pages.

H・デュモリン師は「韓国における禅仏教」に関する90頁の草稿を残されました。これは師の著書 *Zen Buddhism:- A History* の増補として計画されたものでした。